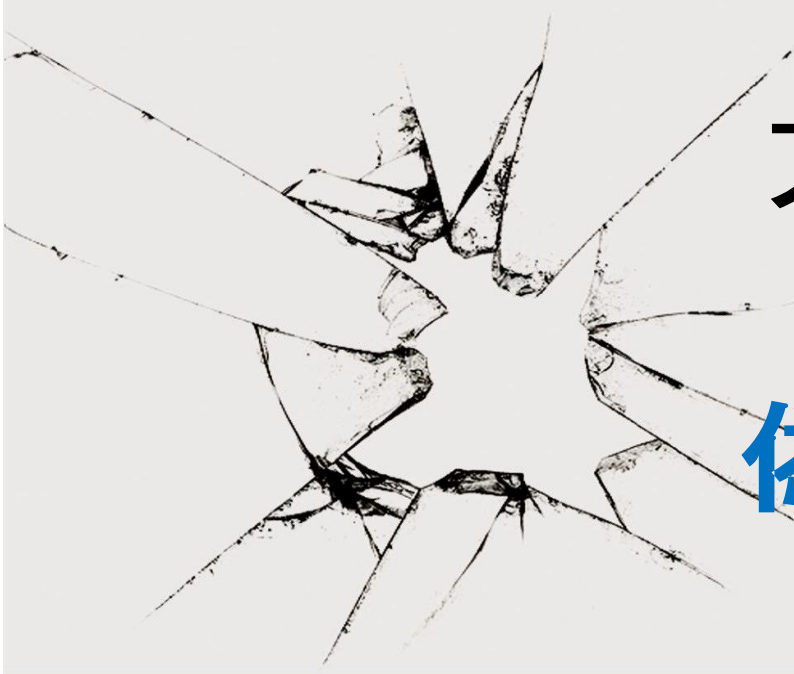


◎幸せな贈り物



# 万物よりひどく 腐敗して 偽りになったこと…

**割れ窓 Broken Window の法則** 「スタンフォード監獄実験 Stanford Prison Experiment」と人間がどのように英雄あるいは怪物になるかを実験した「ルシファーエフェクト Lucifer Effect」という本で有名なスタンフォード大学の心理学者フィリップ・ジンバルド Philip George Zimbardo 教授は 1969 年、興味深い実験をしました。ひとまず治安が比較的粗末な路地に保存状態が同じ二台の自動車のボンネット bonnet (自動車前部の覆い)を開いておいたまま一週間放置しておきました。その中の一台はボンネットだけ開けておいて、他の一台は故意に窓を少し破った状態で置いて、人々がどのように反応するのか、二つの自動車を観察したのです。一週間後、二つの自動車にはあきらかな差が現れました。ボンネットだけ開けておいた自動車は、一週間、特別になんの変化も起きませんでした。しかし、ボンネットを開いて車のガラス窓を破った状態で置いた自動車は、その状態で放置してすぐ十分後にバッテリーがなくなって、引き続きタイヤも全部なくなりました。そして、続いて落書きや投げ捨て、破壊が起きて、一週間後には完全に屑鉄状態になるほど破損してしまっていました。単にガラス窓を少し破損させておいたことだけなのに、そうではない状態と比較して略奪されたり、破壊される可能性が非常に高まったのです。その上、投げ捨てや略奪、破壊活動は短期間に急激に上昇することが分かるようになりました。ここで新しく作られた法則がまさに「割れ窓の法則」です。

少しだけ整理整頓されて、よごれがきれいにされた環境によっても人間の犯罪率は急減すると言われて 있습니다。ところで、近頃、世の中のニュースを見れば、環境的な汚さよりは、醜悪な人間の内面がさらに深刻であるのを見るようになります。お金ならば水火もいとわず人面獣心のことを行う人間のかくされた欲望、自分の利益ならば理念も思想も、同士も統合も紙くずのようにしてしまう人間の利己主義、名誉と地位のためならば、他の人が死のうが生きようが、かくされた残忍さを表わす指導層と宗教指導者の仮面をかぶった偽善、性という情欲の前では年齢も身分も意に介さない芸能人の醜悪な姿…。

それゆえ聖書は「人の心は何よりも陰険で、それは直らない。だれが、それを知ることができよう…」(エレミヤ書 17:9)と指摘しました。そして「口に入る物は人を汚しません。しかし、口から出るもの、これが人を汚します。」とその根源を明らかにしています。(マタイの福音書 15:11)

いつから人間の心がこのように腐敗するようになったのでしょうか。そして、どのように腐敗した人間の心を回復することができるのでしょうか。人間の心をきよくすることができる道は、人間の本質を見なければならぬと聖書は語っています。人間が本当に真実になったら、自分でいくつかのことを発見するようになります。私たち人間は、限界があるという事実を発見するようになります。もう少し真実になれば、私たちの人間は罪人だということを発見するようになります。私たちがもう少し真実になれば、とうてい理解できない霊的問題があるという事実を悟るようになります。私も知っていて、家族も知っている霊的問題があります。ところが、家族も知らないのですが、私だけが知っている霊的問題もあります。ですから、なんの問題もなさそうなタレントが自殺すれば家族が驚くのです。ところで、さらに深刻なのは、私も知らない霊的問題があるのです。この世に完全な人間はいません。どんな部分でも障害を持っていて、知らず知らずいろいろな分野で病気になっているのが人間の実存であり、世の中を生きていく人間の限界です。ですから、神様に会わなければならず、神様に会う正しい道を知らせるのが聖書の核心です。

**新しい開始のために** 聖書は、人間に苦しみが始まるようになった原因を確かに明らかにしてくれています。単純な人間の弱さゆえでも、嘘のゆえでもなく、原罪ゆえだということです。申し訳ないのですが、どんな宗教でも明らかにしないのですが、聖書にだけ原罪のためにそのようになっていると出ています。原罪とは何でしょうか。本来の人間は神様と交わりながら、ともにいるように神様のかたちを持った存在として創造されました。ところが、問題が生じたのです。目に見えない暗やみの存在であるサタンの誘惑にだまされて人間が神様を離れるようになったのです。神様を知らなくなったのです。ですから、人間の生死と災い祝福を治めておられる神様を知らない人間は失敗するしかありません。その原罪を説明した事件が、聖書の創世記 3 章の事件

です。この事件以後に、人間はいくら努力をしてもだめになって、むしろ努力するほど問題がくるようになりました。それで、教育と科学が発展して、所得水準が高くなるのに、犯罪と子どもの墮落はますますもっと深刻になっているのです。ところで、神様を離れたということが、そのまま、ただ終わることではありません。結局は、人生全体が悪魔の手に完全に捕われて、運命と生年月日による運勢というくびきに縛られて、いくら努力してもだめな状態に陥ってしまったのです。詳しく調べれば、先進国であるほど精神問題、麻薬問題、家庭問題、子孫問題はさらに深刻です。そうするうちに、人間はどんどん自分も知らない間に解決策を見出して、偶像の中に陥るようになります。ますますサタンが作っておいた滅びの戦略の中に陥るようになるのです。このようにして、今、全世界で一番多くなっている病気が、心の病気、精神病です。それゆえ、肉体の病気も続けてくるしかありません。表面では笑って通っていますが、日が進むにつれ、隠している苦しみで難しくなるのです。多くの芸能人は表面では笑って通っていますが、言葉にできない苦痛に苦しめられる人々があまりにも多いのです。このように苦勞して死んだら、地獄に行くようになります。そして、さらにくやしいのは、私が受けている困難が、私の子どもにもそのまま伝えられるという事実です。この問題は、人間がいくらもがいて、宗教を持っていても解決されません。いくら善行をしても解決されません。それで神様が直接会う道を開かれたのです。私たちが罪人であったときに、キリストが十字架で死んで復活されることによって、救いの道を開かれたと聖書では語っています。キリストがサタンの勢力を完全に打ちこわして、その手から抜け出す道、神様に会う道、罪とのろいから解放される道を開いてくださいました。それで、イエス様がこのように宣言されました。「イエスは彼に言われた。「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」(ヨハネの福音書 14:6)「主イエス・キリストを信じれば、今すぐ神様の子どもになります」これが名品人生への最も確実な第一歩で、まことの幸せのはじまりです。人間の根本を変えなくては、どんなことも変わりません。神様はあなたを愛しておられ、あなたは神様の前に大切な人です。

# 神様の子どもになるということは

イエス・キリストを信じて受け入れる瞬間、神様の子どもとして、義と認められた者として、神様から受け継ぐものを相続する養子になると聖書は語っています。「義と認められる」というみことばは、ことばを換えれば暗やみ、サタンと地獄とのろいの権威が、これ以上、神様の子どもを罪に定めることができないというみことばです。そして、神様の子どもとされたということは、私たちにすべての祝福をくださるためです。(ローマ 8:17、32) 「聖められた」ということばは、私たちが罪と死の原理から完全に区別されたということです。(ローマ 8:2) 神様の子どもになる瞬間、神様が聖霊で永遠にともにおられ、導いて答えて働いてくださいます。神様の子どもになった者を最後まで愛して保護して勝利させてくださると保証してくださしました。「しかし、私たちは、私たちが愛して下さった方によって、これらすべてのことの中にあっても、圧倒的な勝利者となるのです。私はこう確信しています。死も、いのちも、御使いも、権威ある者も、今あるものも、後に来るものも、力ある者も、高さも、深さも、そのほかのどんな被造物も、私たちの主キリスト・イエスにある神の愛から、私たちを引き離すことはできません。」(ローマ 8:37-39) これらすべての祝福を受けるようになるのは、私たちの人間の条件ではなく「あなたがたは、恵みのゆえに、信仰によって救われたのです。それは、自分自身から出たことではなく、神からの賜物です。」(エペソ 2:8) とおっしゃいます。

神様の子どもになれば、確かに変わることがあります。まず、身分が変わります。罪の奴隷ではなく、義の奴隷になります。そして悪魔の子どもではなく、神様の子どもになります。地獄の民でなく、天国の民になります。生涯生きていく間、自分も知らないでサタンの奴隷になっているのではなく、神様の導きを受けながら祈りの答えの祝福と勝利の祝福を味わうイエス・キリストの御名の権威を得ようになります。それで「あなたがたは今まで、何もわたしの名によって求めたことはありません。求めなさい。そうすれば受けるのです。それはあなたがたの喜びが満ち満ちたものとなるためです。」(ヨハネ 16:24) そして「だから、神の国とその義とをまず第一に求めなさい。そうすれば、それに加えて、これらのものはすべて与えられます。」(マタイ 6:33) と約束してくださしました。一歩進んで、この祝福を持ってサタンがもたらした運命と運勢に縛られて隠している苦痛に苦しめられる他の人を生かすもっとも価値ある人生を生きていくようになります。

救われた神様の子どもは、事実を握って確信すれば良いのです。救われることができない私たちが救われました。私たちは罪の問題、サタンの問題を絶対に解決できないのに、神様はそれをご存知でキリストを送られたのです。この救いは変わりません。そして、神様の子どもの祈りは確かに答えられます。どんな場合にも、神様の導きを受けて勝利の道に行くようになります。もし失敗しても、イエス・キリストの十字架の愛は変わることがありません。「神様の子どもは永遠にほろびることができません」これが神様の子どもへの祝福です。

## 神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放して下さったキリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

## 神様の子どもの 毎日の祈り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



イラスト\_イチャラ

# 若さは**罪**です

詩人は若さを歌って、小説家は若さを称賛する。パク・ボムシンの小説を映画化して話題になった〈ウンギョ〉で、作家は若さはどんな努力でも得られない偶然な祝福で、老いることはどんな誤りのために負わされた罰なのかと言う。そうだ。時間は長短がなく、ただ現実を存在させるだけの単位であるのだ。時間が留まったような若さを青春というが、その時間は老人の過去で幼年の未来だ。若さの一つの時間の頂点だが、若い人々は永遠であるかのように感じ、すなわち錯視現象の中で一日一日を消費する。残るものが時間の他にないと感じる若さは、思いきり燃え上がる油を減少させた後に薄くなった灯のすすを見ながら、自分が自由に浪費した時間を恨む日がすぐ迫ってくるようになる。鉛になった服を着たような不自由な老人の時間になったとき、正しい選択をのがした若さの時間は、苦痛の日々を迎えるようにさせる。若さは自分のために浪費される時間ではなく、福音のための選択のために準備された時間だ。記憶しなければならないことは、若さは生きるための時間でもあるが、死を決める決断の時間でもある。神様は誰にでも一日24時間を公平に分けてくださった。このとき、若さの時間選択で欲求を満たすための判断力がテストされる。まだ名誉欲が旺盛でないので、所有欲の満足のため、絶え間ない挑戦で力を得るが、すぐその力は消耗して、決断の時間をのがした彼らは、苦しみ迎えるようになる。賢い若さは、時間を選択した後に味わいを持たなければならない。それは率直に、若者たちがもっとも嫌いな内容であるかもしれないが、確かに言えることは、信仰の選択は若いときに必ずすべき

必要なことだ。若い日に先に永遠ないのちを選択する時間を確かに持たなければならない。創造の時に、神様は青年アダムに地球環境のすべての良いものをすべて与えられた。素敵な妻までも。したがって、アダムはその若さの時間を治めて守らなければならない。なぜなら、アダムには生んで増えて、地を満たし、地を征服して、海の魚と空の鳥と地にあるすべての生き物を治めるように委任されたためであった。しかし、彼はサタンが提供する嘘、すなわち自らが神様になる欲望を治められず、愛する妻を本当に守ることを知らなかった。その結果、目に見える地の小さいことのために、目に見えないけれど永遠な神の国の大きいことをすべてのがしてしまった。若さを持った人たちは、時代がいくら過ぎたとしても、同じ時間の中で生きることをテストを受けている。結局はゴミに変わってしまう地の良いものを得たが、永遠のいのちを選択することに失敗したので、その苦痛が今の私たちにまで至った。したがって、若さの最高の価値は、選択するところにある。若さの道の前にいのちの道と滅びの道がある。当然、選択は自由だ。しかし、明らかなのは、選択は機会だが、結果は全く違う。したがって、有史以来最高の知恵を持ったというソロモン王はこのように話す。「あなたの若い日に、あなたの創造者を覚えよ。」(伝道者の書12:1) もし記憶しなければ、あなたの若さは良い時間を過ごすのではなく、罰を受けている時間だ。ただし、知らずにいるから痛くないだけなのだ。

チョン・ヒョングク(福音コラムニスト)

\* 相談したい方はこちらまでどうぞ